

JISA政策セミナー

「公共サービスマッシュ（情報連携の基盤）について」開催報告

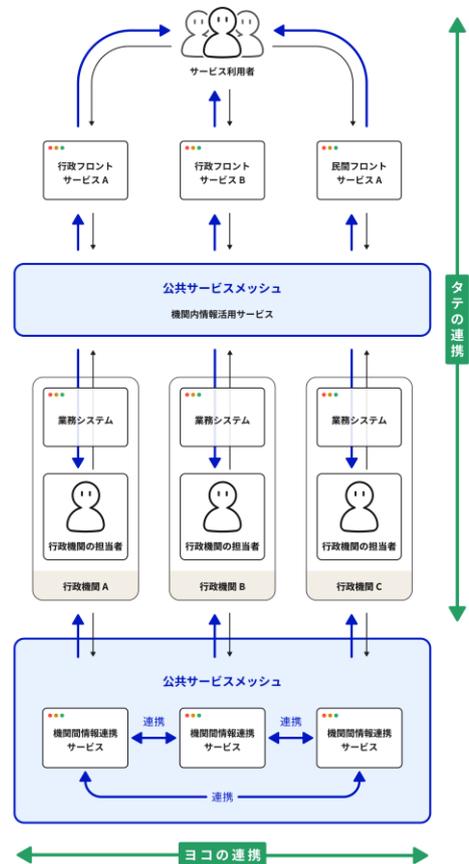
令和5年12月7日（木）、ビジネス委員会デジタル社会推進部会（部会長：加藤 健（株）オーイーシー）は、標記セミナーをJJK会館/Zoomウェビナーにてハイブリット開催した。参加者は364名。

冒頭、加藤部会長より、開会挨拶とともに「デジタル社会推進部会の取組について」と題して、部会活動の状況、今後のスケジュール等について紹介があった。

次に、「公共サービスマッシュ（情報連携の基盤）について」と題して、デジタル庁デジタル社会共通機能グループ・統括官付参事官 杵浦 維勝氏から講演があった。

講演では「デジタル社会の実現に向けた重点計画」に基づき、注力されている領域の一つである「公共サービスマッシュ」について、システム全体概要における位置づけや取組概要、データ利活用による住民サービスの向上事例等について解説があった。

「公共サービスマッシュ」については、行政が持つデータの活用・連携を迅速にするための新たな情報連携基盤であり、行政が持つデータを活用・連携することで、住民サービス体験のさらなる向上や、自治体職員の業務の効率化・負担軽減、国全体のコスト削減を目指している取組である。政府は、現在、2025 年度中の稼働に向けて検討を進めている。



公共サービスマッシュ概念図

引用： https://www.digital.go.jp/policies/public_service_mesh

以上
(小泉)